



日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association



どしくん®

とう し
10/4は
証券投資の日

第12回 日本証券サミット（米国 ニューヨーク）の概要について

2023年 3月

日本証券業協会

The banner features the JSDA logo on the left and the SIFMA logo on the right. The background is a blue grid pattern. The text "JAPAN SECURITIES SUMMIT 2023" is prominently displayed in the center, with "2023" in green. At the bottom, a dark blue bar contains the date and location: "Wednesday, March 1 | Japan Society, NYC".

1. 開催概要

開催日時

2023年3月1日（水）

会場

米国ニューヨーク ジャパン・ソサエティ

共催機関/ 協力機関

- 米国証券業金融市場協会（SIFMA）
- 金融庁、日本取引所グループ、投資信託協会、国際銀行協会、ジャパン・ソサエティ

参加者

約200名（現地の金融機関・証券会社、機関投資家等）

今回のポイント①

- 今回の日本証券サミットは、金融庁、取引所を含め官民一体となって4年ぶりに海外の金融センターに赴くことにより対面開催形式で実施した。また、訪米の機会をとらえて、協会幹部と現地市場関係者等との意見交換も実施した。
（日本証券サミットについて）
- 初の試みとして、会合冒頭に、岸田総理によるビデオメッセージを放映し、政権の掲げる「新しい資本主義」、「資産所得倍増計画」、「スタートアップ育成5か年計画」のポイントについてメッセージ発信を頂いた。
- その後、金融庁（天谷金融国際審議官）、東証（山道CEO）による基調講演において、金融庁、取引所における各種の改革に向けた取り組みについて、説明があった。
- あわせて、内外市場関係者を迎えて、①日本経済の更なる成長に向けて、②日本市場の活性化に向けた諸施策について、と題した2つのパネル・ディスカッションを開催し、意見交換・質疑応答を行った。
- なお、フロアからの質疑は総じて活発で、会合後のレセプションも極めて盛況となるなど、多くの市場関係者が本邦関係者とのネットワーキングの機会を求めていたことがわかった。

1. 開催概要（続）

今回のポイント②

（関連会合等）

- 会合前には、内外の市場関係者約25人が参加したラウンドテーブル・ディスカッションを開催し、最近の日米資本市場における課題及び今後の見通し等に関し、チャタムハウスルールの下で率直な意見交換が行われた。
- また、訪米の機会をとらえ、ニューヨーク証券取引所を訪問し、意見交換・見学をおこなったほか、①日系証券会社の現地拠点長、②SIFMA首脳、③今次会合関係者と協会幹部との意見交換をそれぞれ実施した。

当日の様様



2. プログラム



項目	開始	終了	内容
歓迎の辞	13:30	13:35	米国証券金融市場協会（SIFMA）プレジデント 兼 CEO ケネス・ベンツェン 氏
開会挨拶	13:35	13:40	日本証券業協会 会長 森田 敏夫
ゲストスピーチ (ビデオメッセージ)	13:40	13:50	内閣総理大臣 岸田 文雄 氏
基調講演①	13:50	14:10	金融庁 金融国際審議官 天谷 知子 氏
パネル・ディスカッション①	14:10	15:15	日本経済の更なる成長に向けて（マクロ経済政策、スタートアップ育成等） モデレーター：コロンビア大学ビジネススクール 日本経済経営研究所 ディレクター アリシア・小川 氏 パネリスト：大和総研 副理事長 熊谷 亮丸 氏 BNPパリバ証券 グローバルマーケット 統括本部副会長 中空 麻奈 氏 CIC Captains of Innovation マネージングパートナー キャリー・アレン 氏
コーヒーブレイク	15:15	15:35	—
基調講演②	15:35	15:55	東京証券取引所 代表取締役社長 山道 裕己 氏
パネル・ディスカッション②	15:55	17:00	日本市場の活性化に向けた諸施策について（資産所得倍増プラン等） モデレーター：国際銀行協会 事務局長 ギャリー・スタントン 氏 パネリスト：野村資本市場研究所 常務 関 雄太 氏 日興アセットマネジメント 代表取締役社長 ステファニー・ドゥルーズ 氏 モルガン・スタンレー マクロ戦略グローバル責任者 マシュー・ホーンバック 氏
ネットワーキング・レセプション	17:00	18:30	—

3. 主な内容

ビデオメッセージ

内閣総理大臣 岸田 文雄 氏

主な内容

- ✓ 財政支出39兆円の総合経済対策をとりまとめたことが紹介されるとともに、スタートアップ育成に注力し、また、現在28兆円規模のNISA口座による買い付け額を5年で倍増させることなどを内容とする**資産所得倍増計画を推進することなどを通じて日本経済の持続的な成長を実現し日本を魅力的な投資対象とする**旨の決意が述べられた。

基調講演①

金融庁 金融国際審議官 天谷 知子 氏

主な内容

- ✓ 最近の金融セクターの動向、日本が本年議長国を務めるG7の概要、サステナビリティ情報の開示の充実や、ESGの市場機能の発揮、コーポレートガバナンス改革、顧客本位の業務運営の原則、金融経済教育に対する取組みといった最近の**金融庁における市場活性化策**について紹介が行われた。

基調講演②

東京証券取引所 代表取締役社長 山道 裕己 氏

主な内容

- ✓ 市場区分の見直し、コーポレートガバナンスの向上、ニューヨーク証券取引所等の海外市場との連携といった最近の**日本取引所グループにおける市場活性化策**について紹介が行われた。

3. 主な内容（続）

パネル・ディスカッション①

日本経済の更なる成長に向けて（マクロ経済政策、スタートアップ育成等）

主な内容

- ✓ 日本のマクロ経済の状況、金融政策、高齢化問題、賃上げを巡る情勢、グリーントランスフォーメーション、スタートアップ育成等に関してプレゼン・議論が行われ、新しい資本主義が標榜するリスクをチャンスに変える方策等についても意見交換が行われた。

パネル・ディスカッション②

日本市場の活性化に向けた諸施策について（資産所得倍増プラン等）

主な内容

- ✓ 資産所得倍増計画のポイント、および一連の市場活性化に向けた取り組みが資本市場に与える影響等について紹介および討議が行われ、今後の日本の資本市場に対する期待、展望について意見交換が行われた。